

北海道拓北養護学校



コミュニティ・スクール
だより

第6号

令和8年3月24日
北海道拓北養護学校
学校運営協議会事務局

3月3日(火) 第3回学校運営協議会を実施しました。

今年度第3回目の学校運営協議会は、9名の委員の方に御参加いただいたの実施となりました。また、本校からは校長、副校長、教頭、事務長、主幹教諭が参加し、以下の内容を行いました。

◎主な内容

- 1 令和7年度 学校評価及び次年度に向けて (副校長)
- 2 令和7年度 本校卒業生進路状況について (主幹教諭)
- 3 令和8年度 学校経営計画(案)について (学校長)

<当日御参加いただいた委員の皆様>

【次年度に向けた本校の取り組みについての質疑応答】

- 自立活動の充実について、摂食指導の具体的な内容を教えてほしい。
→自立活動教諭との連携や、摂食指導に関する評価や状況の共有など、個別の指導計画の様式を変更し記録化していくなどを方法を行う。
学校歯科医による巡回相談などもこれまで通り行っていく。
全体研修の方法も検討していく予定である。
- 地域活動プログラムについて、周辺地域にどのように周知していくのか
→これまではホームページ中心での周知のみであったが、これからはチラシ配付などの方法など、より地域に向けた発信方法も検討していく。

○地域活動プログラムに卒業生が参加することは可能か

→参加することは可能。これまで特に卒業生などを対象に情報発信してこなかった。同窓会などの場面での情報発信などの対応を検討する。

<当日御参加いただいた委員の皆様>

【卒業後の事業所との連携について】

- ・卒業後の引継ぎについて、学校とこまめに連携し色々情報をいただいているので、とてもありがたい。いただいた情報を実践し、把握するを繰り返している。それを継続的に行っていくことが事業所にも求められているのではないかと感じている。いただいた資料を見て、自分たちもより良くしていきたいと考えている。
- ・卒業後の福祉事業所と学校が連携するなら、小学部の時から将来に向けて指導してくださったこと、子供たちの長所が何かということを引き継いで、生活介護で生かしていただければありがたい。
- ・プラスの力、本人の好きなこと、得意なことなどを引き継いでいただけると、支援のきっかけを考える際の参考になるので、そのような情報はありがたい。

【近隣地域との連携について】

- ・町内会における学校の情報発信について、町内会では地域の小中学校の通信の一部を回覧している。
- ・拓北・あいの里まちづくりセンター内に町内会回覧用の印刷物を入れる棚があり、定期的に町内会の方々がそれを取りに来て、各町内会で回覧している、学校で発信したい内容の配付物や回覧物をそこに入れてもらえると町内会で回覧される。タイムラグがあるので、早めに入れていただいた方がありがたい。

【防災への取り組みについて】

- ・学校を避難所にするかどうかについて、東日本大震災の状況などを教訓に、PTAで検討して避難所に指定したという経緯があった。自分で逃げるできない子どもたちに対して、どのような対応をすべきかということをお学校として考えていただきたい。保護者間での共有も必要である。
- ・他校のPTAの方々と話して、ここまで防災に対して取り組んでいる学校は無いのではないかと感じた。
- ・PTA会長になって初めて知ったことがたくさんあった。多くの保護者は御存知ないのではないかと思います、「防災だより」を作成して周知した。
- ・避難訓練をきっかけに、自分の子どもはどうしたらよいか、先生方と普段から話しておくことが大切だと感じた
- ・防災に関して、校長先生のお話をぜひ教育大の学生に聞かせたいと感じた。大学の講義の中では防災に関する授業はないが、関心がある学生が多いと思う。

【その他の御意見】

- ・あいの里西小との交流学习では訪問させていただきありがとうございました。子どもの人格人権の尊重がされており、双方の児童にとってとても良い経験となった。
- ・子どもが小中学部の時、高等部を見学して将来の見通しを持つことができた。違う学部の授業を見るのもとても良い体験だった。
- ・公開授業研が2月なら学生も参加できると思う。
- ・摂食の指導について、公開授業研の際に外部の専門家にも見てもらうのも、自立活動の先生も参考になるのではないかと。そのような連携を推進していただきたい。

編集後記

- ・今回の学校運営協議会でいただいた御意見について、校内で共有し、次年度の学校運営に反映させていただきます。お忙しい中御参加いただき、御意見等をいただきました運営委員の皆様、ありがとうございました。

(事務局)

